

協議の進め方について（10年後の目標設定と実現方策）

1 役割分担の決定（※各自いずれかの役割を担うこととする）

《グループ協議》

- ・グループリーダー（1名）→協議の進行と協議結果の発表
- ・副リーダー（1～2名）→リーダーの補佐
- ・書記（1～3名）→結果を模造紙や提出用紙等に記載
- ・タイムキーパー（1～2名）→時間配分の調整

※ 様式1に記載して事務局に提出する。

2 10年後の目標設定と実現方策の抽出について

《グループ協議》A・B・Cグループ

(1) 目標を抽出〔30分〕

- ① 参考資料2に基づき10年後の理想とする姿を予想しながら、目標を検討し、模造紙と様式2に記載する。〔30分〕

※様式2は事務局に提出

(2) 実現方策を抽出〔70分〕

- ① 目標に基づき実現方策を導き出し、付箋に記載する。〔50分〕
- ② 付箋を模造紙に記載された目標ごとに貼り、実現方策を検討する。〔10分〕
- ③ 実現方策を優先順に絞る。〔5分〕
- ④ 目標ごとの実現方策を、模造紙と様式3に記載する。〔5分〕

※様式3は事務局に提出

【例】 ※裏面の事例を参考としてください。

産業・経済	課題	
	目標	○○○○○
	実現方策	①
		②
③		
観光	課題	
	目標	○○○○○
	実現方策	①
		②
③		

<全体協議>

(2) 目標と実現方策の整理〔30分〕

- ①各グループの協議結果を発表（グループリーダー）する。※各5分程度
- ②質疑応答。
- ③各グループから発表された目標について協議し，整理を図る。

【次回会議で決定】

<全体協議>

(3) 目標と実現方策を設定する

- ①目標（案），実現方策（案）について全体で協議し，設定する。

【事例】

テーマ：福祉

今回の会議で協議した
課題が入っています。

グループで協議し，
目標を設定して，
ここに記載して下さい。

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な交流の場を増やし，高齢者を孤立させない地域にする必要がある。 ・高齢者等外出困難者の移動手段を確保し，地域内の移動を可能にする必要がある。 ・助け合い精神を持ち，住民が互いに思いやる必要がある。
目標	みんなの思いやる心で幸せを感じる「まち」
実現方策	<ul style="list-style-type: none"> ① 世代を超えた交流の場を充実させる ② 誰もが気軽に利用できる移動手段を確保する ③ 地域が連携して住民の生きがいをづくりをする

グループで協議し，
実現方策を設定して，
ここに記載して下さい。

①

高齢者が教養と特性を生かし，地域の小中学校に出前講座等に参加する。

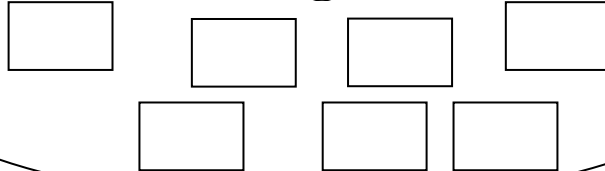
小学校の空き教室を利用し児童と高齢者の交流の場にする。

世代を超えた交流を深める事業を実施する。

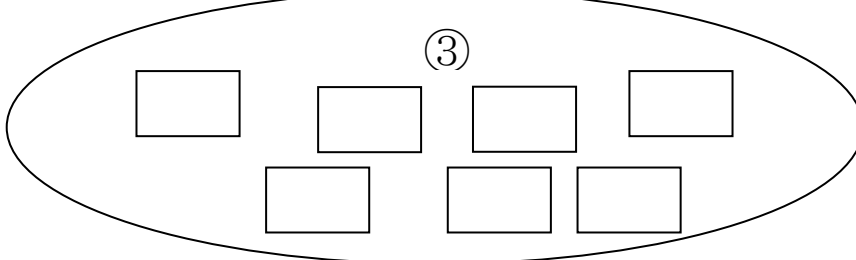
高齢者と子供達の交流ができる場をつくる。

目標を達成するための
実現方策を付箋に記載して，ここに貼って，方策ごとにまとめて下さい。

②



③



まとめた付箋から導きだされる実現方策を記載して下さい。